



## 2026年9月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(非連結)

2026年5月12日

上場会社名 株式会社ダイイチ  
コード番号 7643 URL <https://www.daiichi-d.co.jp/>

上場取引所 東札

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 若園 清

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 西崎 進

TEL 0155 - 38 - 3456

半期報告書提出予定日 2026年5月12日

配当支払開始予定日

2026年6月18日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年9月期第2四半期(中間期)の業績(2025年10月1日～2026年3月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期中間期	31,212	9.2	1,013	31.7	995	30.5	675	21.9
2025年9月期中間期	28,575	9.8	769	33.5	762	34.4	554	30.6

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期中間期	60.17	
2025年9月期中間期	49.10	

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期中間期	28,339	17,741	62.6
2025年9月期	27,338	17,214	63.0

(参考)自己資本 2026年9月期中間期 17,741百万円 2025年9月期 17,214百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期		18.00		18.00	36.00
2026年9月期		20.00			
2026年9月期(予想)				20.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2026年9月期の業績予想(2025年10月1日～2026年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	61,500	5.0	1,680	28.4	1,630	26.6	1,200	22.5	106.84

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年9月期中間期	11,438,640 株	2025年9月期	11,438,640 株
期末自己株式数	2026年9月期中間期	201,241 株	2025年9月期	206,720 株
期中平均株式数(中間期)	2026年9月期中間期	11,234,268 株	2025年9月期中間期	11,295,105 株

第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用に当たっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当中間決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間貸借対照表 .....	4
(2) 中間損益計算書 .....	5
(3) 中間財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報等の注記) .....	6
(重要な後発事象) .....	6

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や電気・ガス料金補助、ガソリン暫定税率の廃止等の政策効果により、物価高の影響を受けつつも個人消費が底堅く推移したことなどを背景に、緩やかな回復基調が続きました。

しかしながら、日中関係悪化によるインバウンド需要の鈍化やイラン情勢の緊迫化の影響など、景気の下振れリスクが高まっており、先行き不透明感が増しております。

スーパーマーケット業界におきましては、一部生鮮食品を除いた飲食料品価格の上昇が続いており、お客様の「節約志向」は、日々強まっております。加えて、人件費や各種経費の増加、石油精製資材等の供給不足懸念、業種・業態の垣根を越えた競争激化など、経営環境は厳しさを増してきております。

このような状況の下、当社は、社是である「お客様の普段の食生活のお役に立つ」の精神に立ち返り、『普段の食生活を通じて、地域を笑顔に』を基本方針とする中期経営計画に基づき、最終年度である第72期に関しましては、「①直近出店店舗の体質強化」、「②競合店対策・既存店活性化、商品力・商品化技術強化」、「③新規出店計画推進」、「④ガパナンス体制強化(人財確保・育成強化、ジェンダーレス推進、店舗収益性の改善、業務改善推進、災害対策強化)」、「⑤コンプライアンスの徹底」、「⑥食を通じた社会貢献推進」、を重点項目とし、取り組んでおります。

当中間会計期間における主な取り組み成果といたしましては、「①直近出店店舗の体質強化」への取り組みとして、2023年11月にオープンしたすすきの店、2024年9月にオープンした稲田店、2024年11月にオープンした千歳店が、順調に売上高を拡大(いずれの店舗も2桁の伸び)している他、2025年3月にオープンしたアリオ札幌店は開業当初から全店1位の売上高を争う店舗として、好調に推移しております。

「②競合店対策・既存店活性化、商品力・商品化技術強化」への取り組みといたしましては、引き続き、お客様の立場に立った商品作りと品揃えの徹底を基本方針に、お客様の「節約志向」や「簡単・便利ニーズ」にお応えするため、「即食商品」の拡充、「適正量目」、「適正価格」の一層の追求、高品質でお買い得価格の「セブンプレミアム商品」の販促強化に努めました。併せて、全社挙げての「基本の徹底」を強く意識した在庫管理やロス削減等による売上総利益率の改善に取り組みました。

「⑥食を通じた社会貢献推進」への取り組みといたしましては、「災害時における物資支援等の協力に関する協定書」を2025年12月に恵庭市と締結しました。これにより当社が営業拠点を構える全ての市町(全8市町)との協定締結が完了いたしました。今後、災害等が発生した場合には、自治体と協力し、迅速・確実に食料品等の生活物資をご提供するなど、地域の皆さまの安全で安心な暮らしに貢献してまいります。

また、2025年10月より開始した「フードドライブ」活動は、2026年3月末時点で取扱店を15カ店に拡大しております。本取り組みを通じて各地域の社会福祉協議会等へお届けした飲食料品は、開始から2026年3月末までの間で、点数で約3,600点、重量で約740kgとなりました。

この他、地域貢献活動の一環(食育、農業支援等)として、帯広農業高校と連携した商品開発事業にも取り組んでおります。当中間会計期間においては、2つの商品(総菜と和菓子)を同校の生徒の発案で開発し、販売いたしました。

これらの結果、当中間会計期間における売上高は312億12百万円(前年同期比9.2%増)、売上総利益は80億42百万円(同10.2%増)と順調に推移しました。

利益面につきましては、前中間会計期間に発生した新規出店費用が発生しなかったため、営業利益は10億13百万円(同31.7%増)、経常利益は9億95百万円(同30.5%増)と大幅な増益となりました。

また、中間純利益につきましては、前中間会計期間に特別利益を計上したことによる反動があったものの、本業の利益伸長が寄与し、6億75百万円(同21.9%増)となりました。

地域別の売上高につきましては、帯広ブロックは118億33百万円(同3.6%増)、旭川ブロックは73億10百万円(同2.3%増)、札幌ブロックは120億67百万円(同20.7%増)となりました。収益性については、売上総利益率は25.8%(前年同期比0.3ポイント改善)となったほか、販売費及び一般管理費の売上高に対する比率は23.5%(同0.4ポイント改善)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当中間会計期間末の資産につきましては、前事業年度末に比べ10億1百万円増加の283億39百万円となりました。

流動資産においては、現金及び預金の増加9億28百万円、売掛金の増加1億48百万円、商品及び製品の増加92百万円、その他に含まれる前払費用の増加39百万円、ギフト券未収金の増加11百万円等により、前事業年度末に比べ12億30百万円増加の122億17百万円となりました。

固定資産においては、建物の減少1億17百万円、有形固定資産その他に含まれるリース資産の減少1億12百万円等により、有形固定資産合計が2億36百万円減少し、投資その他の資産その他に含まれる繰延税金資産の減少26百万円、長期貸付金の減少23百万円に対し、その他に含まれる投資有価証券の増加63百万円等により、投資その他の資産合計が19百万円増加となりました。これにより、固定資産は前事業年度末に比べ2億29百万円減少の161億21百万円となりました。

(負債)

当中間会計期間末の負債につきましては、前事業年度末に比べ4億74百万円増加の105億98百万円となりました。

流動負債においては、買掛金の増加2億93百万円、未払法人税等の増加1億37百万円、その他に含まれる未払消費税等の増加1億41百万円、未払金の増加67百万円、預り金の増加30百万円、前受金の増加27百万円等に対し、賞与引当金の減少85百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少28百万円、その他に含まれるリース債務の減少39百万円、未払事業所税の減少12百万円等により、前事業年度末に比べ5億38百万円増加の68億23百万円となりました。

固定負債においては、退職給付引当金の増加10百万円、資産除去債務の増加10百万円に対し、その他に含まれる長期リース債務の減少77百万円等により、前事業年度末に比べ64百万円減少の37億74百万円となりました。

(純資産)

当中間会計期間末の純資産につきましては、前事業年度末に比べ5億27百万円増加の177億41百万円となりました。

これは主に、中間純利益6億75百万円の計上、剰余金の配当2億2百万円の結果、利益剰余金が4億73百万円増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は62.6%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2025年11月14日の「2025年9月期決算短信」で公表いたしました2026年9月期の通期の業績予想に変更はありません。

通期の業績予想に対する当中間会計期間の実績の進捗状況は、以下の通りであります。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
通期予想 (A)	61,500	1,680	1,630	1,200	106.84
中間会計期間実績 (B)	31,212	1,013	995	675	60.17
進捗率(%) (B)/(A)	50.8	60.3	61.1	56.3	56.3

## 2. 中間財務諸表及び主な注記

## (1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年9月30日)	当中間会計期間 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,645,359	8,574,243
売掛金	1,262,469	1,410,646
商品及び製品	1,327,722	1,419,922
原材料及び貯蔵品	10,196	8,868
その他	743,021	805,738
貸倒引当金	△1,500	△1,500
流動資産合計	10,987,269	12,217,918
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	5,979,285	5,861,959
土地	6,103,365	6,103,365
その他(純額)	1,603,514	1,484,134
有形固定資産合計	13,686,165	13,449,459
無形固定資産		
その他	82,418	70,745
無形固定資産合計	82,418	70,745
投資その他の資産		
長期貸付金	720,534	697,048
その他	1,861,738	1,904,525
投資その他の資産合計	2,582,272	2,601,573
固定資産合計	16,350,856	16,121,778
資産合計	27,338,126	28,339,696
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,556,203	3,849,685
1年内返済予定の長期借入金	41,983	13,981
未払法人税等	227,235	364,720
賞与引当金	272,169	186,672
その他	2,187,336	2,408,766
流動負債合計	6,284,927	6,823,824
固定負債		
退職給付引当金	859,582	870,125
資産除去債務	1,645,162	1,655,279
その他	1,334,352	1,249,222
固定負債合計	3,839,097	3,774,627
負債合計	10,124,025	10,598,452
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,639,253	1,639,253
資本剰余金	1,566,100	1,568,751
利益剰余金	14,226,407	14,700,192
自己株式	△271,005	△263,822
株主資本合計	17,160,755	17,644,375
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	53,345	96,869
評価・換算差額等合計	53,345	96,869
純資産合計	17,214,101	17,741,244
負債純資産合計	27,338,126	28,339,696

## (2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
売上高	28,575,012	31,212,872
売上原価	21,274,769	23,170,216
売上総利益	7,300,243	8,042,656
営業収入	290,045	294,859
営業総利益	7,590,288	8,337,515
販売費及び一般管理費	6,820,980	7,324,291
営業利益	769,308	1,013,224
営業外収益		
受取利息	3,723	3,960
受取配当金	869	1,537
受取弁済金	10,320	—
受取保険金	—	5,745
その他	5,445	2,711
営業外収益合計	20,358	13,955
営業外費用		
支払利息	25,952	30,542
その他	1,039	1,436
営業外費用合計	26,991	31,978
経常利益	762,676	995,201
特別利益		
受取解決金	67,010	—
特別利益合計	67,010	—
特別損失		
固定資産除却損	—	2,233
減損損失	18,012	—
特別損失合計	18,012	2,233
税引前中間純利益	811,673	992,968
法人税、住民税及び事業税	259,501	309,849
法人税等調整額	△2,376	7,160
法人税等合計	257,124	317,009
中間純利益	554,549	675,958

（3）中間財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

前中間会計期間（自2024年10月1日 至2025年3月31日）及び当中間会計期間（自2025年10月1日 至2026年3月31日）

当社は、食料品主体のスーパーマーケット事業及びこれらの付帯業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。